


**2020年度全国地域実践「実践大賞」
出品表（教宣活動の部）機関紙（誌）**

(1) 活動について

| | | | |
|---------|---|------|--|
| 応募団体名 | (ふりがな) ひのちようれんごうせいねんかい 日野町連合青年会 | | |
| 活動名称 | (ふりがな) こうほうかつどう 広報活動 | | |
| 活動期間 | 2020年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日 | | |
| 主な活動実施日 | 毎週火・水・金曜日 他数十日活動 | | |
| 進行状況 | <input type="checkbox"/> 企画中 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 活動中 <input type="checkbox"/> すでに終了 <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 活動場所 | 日野町連合青年会 事務所 | | |
| 関係者数 | 4人 | 参加者数 | |

(2) 作品について

| | | | |
|-------------------|--|------|------------|
| 応募部門 | <input type="checkbox"/> 道府県団紙 <input type="checkbox"/> 郡市町村団紙 <input checked="" type="checkbox"/> 機関誌 | | |
| 機関紙（誌）名 | (ふりがな) きかんし 「ひのせいねん」 機関紙 「ひのせいねん」 | | |
| 年間発行回数 | 年4回発行 他号外1回発行 | | |
| 配布対象者 | 日野町民 | 配布方法 | 新聞折込（全戸配布） |
| 作品の写真 |  | | |
| 編集方針 ・ 編集体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの活動を知ってもらうため ・団員全員で記事の割り振りやレイアウト・構成を考え、全員で校正 | | |

| | |
|--|--|
| <p>読者からの反応や 作品の効果・成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の方々に「いつも読んでよ」「頑張ってるね」と応援して頂いている ・ 「Welcome OBさん」などの連載記事で先輩方との繋がりを作ることが出来た |
| <p>アピールポイント (見てほしい点・自慢 したい点など)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 全て手書きで作成している ・ 記事のタイトルをそのままの事業名を使わずアレンジしたり、トーンなどを使い強調させたりしている ・ 折込用紙を更半紙でB4サイズを使うことで、目立ちやすく手に取りやすいよう工夫している |

以 上

2020年度全国地域実践「実践大賞」
アピールレポート（共通・自由記述）

| | | | |
|-------|--|------|---|
| 応募団体名 | (ふりがな) ひのちょうれんごうせいねんかい 日野町連合青年会 | 応募部門 | <input type="checkbox"/> 地域活動の部 <input checked="" type="checkbox"/> 教宣活動の部 |
| 活動名称 | (ふりがな) こうほうかつどう 広報活動 | | |
| 活動実施日 | 2020年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日 | | |
| 活動場所 | 日野町連合青年会 事務所 | | |
| 関係者数 | 4人 | 参加者数 | |
| 活動概要 | (200字程度) 数十年前から伝統で続いている機関紙「ひのせいねん」。時代が移り変わっても、手書きで作成するという事にこだわりつづけてきました。団員数の減少により一人ひとりの負担が増え、数年前より発行回数を減らしています。回数を減らしても、私たちの活動や想いを知ってもらうために、毎号団員全員で関わり作成しています。手書きB4更版紙で作成しているのも、新聞折込で手に取ってもらいやすいように工夫しています。 | | |

活動報告

※活動の詳細を以下に自由に記載してください。

文字だけでなく、写真など取り組みの様子や活動の風景なども入れても問題ありません。

※文字の大きさやレイアウトに指定はありません。

※「いつ、誰が、どこで、どのように、何を、その理由は？」の5W1Hがわかるように、できるだけ具体的に書くことを心がけてください。

———<以下よりご記入ください>———

数十年前より受け継がれている機関紙「ひのせいねん」を、発行回数は減らしながらも引き継ぎ作成しています。町民の方々に向けて私たちの活動を発信したり、また、地域との繋がりを作るために発行しています。作成でこだわっている点は4つあります。まず1つ目は「団員全員で取り組むこと」。記事内容を決めるところから印刷まで、団員全員が関わるようにしています。原稿も全員で校正を行っています。そして2つ目は「手書きで作成すること」。パソコンで作ることの方が簡単で、手書きは手間がかかるのですが、書き手の思いが伝わりやすいように手書きにしています。地域の方々からも「手書きの温かさを感じる」「一生懸命さが伝わってくる」という声もいただいています。3つ目は「見出しの工夫」。参加した事業名をそのまま書くのではなく、読む人が読んでみたいと思ってもらえるような、情景が想像できるような見出し・タイトルにするように心がけています。また、目を引くように文字にも工夫をしたり、トーンなどで効果をつけたりしています。そして最後4つ目は「地域との繋がり」。今連載記事として、「Welcome OBさん」と昨年度から新たにスタートした「〇〇トーク」があります。「Welcome OBさん」は日野町連合青年会60周年を迎える際に始めた記事です。歴代の会長さんに当時の思い出を話してもらったり、私達現役団員へ激励の一言をもらったりしています。なかなか先輩方と繋がることはできませんが、この連載のおかげで、歴代の会長の方々に関わることができます。そして「〇〇トーク」については、毎号一つのテーマについて団員内で話し合いその内容を記事にしています。普段話さないことを改めて話すことによって、団員のことをよく知ることができ、楽しい記事になっています。機関紙を書くことが苦手な団員も多いので作成には時間がかかります。事業前はバタバタして時間の確保が難しくなります。しかし、作成することで私達団員は「相手にどう書いたら伝わるか」や「自分の想いをどうやって伝えるか」など考えることができます。初めて記事を書いたときは文字数が収まらず苦労していた団員も、回数を重ねていくうちに少しずつ書けるようになってきました。また、読んでくださってる地域の方からも「読んでいますよ。いつも頑張ってるね」など嬉しいお言葉をもらうこともあります。これからも地域にしっかり想いを発信できるよう、団員全員で頑張っていきたいと思っております。